



## ① 松雲堂書店

神保町古書店街の一番西の端にある「松雲堂書店」は、創業1890(明治23)年と、1世紀以上続く老舗である。中国文学や古典籍を扱う古書店。漢詩、漢文、和紙、中国文学を中心に扱っており、店内には漢字の世界が広がっている。うずたかく平積みされた古典籍が壁両側を占めており、貴重本が置かれているレジ奥の板の間には靴を脱いで上がる事ができる。これらの品々の仕入れはほとんど市場から。古典籍の専門店では珍しい女性店主の野田さんは、和本の修理を丁寧にこなす。

03-3261-6498  
千代田区神田神保町3-1



## ② 山本書店

明治42年(1909)創業の「山本書店」は、糸とじ本などの古典籍を中心に販売する古書店。特に中国関係と書道を専門とする。漢文で書かれた中国の書籍を漢籍といい、漢籍のなかでも中国で出版されたものを唐本、輸入して日本で翻刻したものを和刻本と呼ぶが、当店は和刻本を扱う日本有数の店。店内はゆったりとしたスペースに書棚や展示用ガラスケースを配置。「ゆるりと陳列し、静かに選書できる」(店主)店づくりも特徴だ。テレビ局からドキュメンタリー制作に必要な資料の依頼や、書道のお手本がほしい、といった相談もあるという。

03-3261-0847  
千代田区神田神保町2-7



## ③ 原書房 版画部

浮世絵に関することなら「原書房 版画部」へ。浮世絵、新版画、複製版画など、お手頃な作品から一級品まで幅広く取り揃えており、浮世絵に関する書籍の品揃えも業界随一。国内外のコレクター、美術館関係者からも厚い信頼を受けている。店内はギャラリーとなっており、壁のいたるところに北斎、広重、豊国のものなど、江戸期の浮世絵の代表的な作品や大正、昭和期の新版画などが展示され、まるで美術館のような雰囲気だ。

03-5212-7801  
千代田区神田神保町2-3 原書房2F



## ④ 誠心堂書店

神田でも老舗の古書店。和書本の充実ぶりが有名で、江戸初期(寛永年間)からの作品は約1000点にもものぼる。書道・日本史・伝記・民俗学・漢文関連書が豊富。和書に詳しくなくても視覚的に楽しめる作品が並ぶ一方、学術資料として一級の書も多い。店舗外観は東京大学や旧帝国ホテルと同じ、黄色の施釉スクラッチタイルで、2003年に千代田区の「景観まちづくり重要物件」に指定された。神田で御茶ノ水を舞台にした映画「珈琲時光」(2003年)でも、主演の浅野忠信が店主役をつとめる店としてロケ地に選ばれており、映画と実物を見比べても楽しい。

03-3262-5947  
千代田区神田神保町2-24



## ⑤ 日本書房

「日本書房」は昭和23年(1948)、学校や図書館に国文学の古書籍を納める専門店としてオープン。『万葉集』『源氏物語』などの古典、松尾芭蕉をはじめとする俳句、国語文法・辞書、方言辞典・解説書など、研究書や辞典がジャンル別、テーマ別に天井まで整然と並ぶ。研究書は芭蕉だけで約300冊、王朝文学は約500冊。国語辞典『言海』は大型本からポケットサイズまですべての版がそろそろ。目録販売は年2回、各回約1万2000タイトル。近年は和本の古典籍にも力を入れる一方で、国文学の雑誌や研究書は新刊本も扱う。

03-3261-2744  
千代田区西神田2-8-12



## ⑥ 沙羅書房

日本史・地誌(特にアイヌ北方・琉球関係)、民俗学、考古学などの文化系学術書が充実している。国文や地誌についての和紙(版本/写本)・江戸から明治期の古地図(版図/写図)などを探すならこの店にははずせない。古地図を扱うきっかけは、幕末以降の東京図の蒐集を始めたこと。200枚を超える貴重なコレクションは現在、江戸東京博物館に収められている。1967(昭和42)年の創業より、店舗販売と同時に目録販売も続けている。店頭に置いていない商品も多数あるので、前もって電話、FAX、メールなどで在庫の有無を問い合わせたほうがよい。

03-3219-0470  
千代田区神田神保町1-32



## ⑦ 大屋書房

明治15年(1882)創業の「大屋書房」は、江戸時代に刊行されたあらゆるジャンルの出版物を扱う。江戸文化の息は明治中期の1900年頃までおよぶため、同店の取り扱いも厳密にはその辺りまで。和本のほか、江戸時代の古地図、浮世絵、幕末・明治の古写真も扱う。神保町に170店ほどある古書店の中でも、「時代」で括る品そろえは非常に珍しい。美術館でガラス越しに見るような本や絵を、実際に手にとることができる。京極夏彦の小説に登場する妖怪が載った和本も多数。

03-3291-0062  
千代田区神田神保町1-1



## ⑧ 一誠堂書店

古書店界の名門「一誠堂書店」は、明治36年(1903)創業の老舗。洋装本、洋書、古典籍(和紙、巻物、古地図)など文化系書物全般を扱う。若手社員の意見で書棚に加わったのが映画・演劇の本だ。国内外の大学、図書館、美術館との取引も多い。「うちの柱は一般書、洋書、古典籍の3つ。売れなくても、どれかをやめる考えはないんです。他店がやらなくなっても、うちがやっていたらお客様は来るでしょう。古本屋は持続が大事です」(店主)。値段の過当競争が業界に及ぼす影響を配慮し、HPへの商品掲載は一部にとどめる。

03-3292-0071  
千代田区神田神保町1-7



## ⑨ 燎原書店

日中国交回復以前の、1971(昭和46)年の創業時からずっと中国関係書籍一本で続けている。書棚を構成するのは中国からの輸入書と漢方書との2本柱。中国からの輸入書は、現代に発行された、古い時代を描いたものが中心。中国関係の本と一口で言っても、文学、哲学、考古学、歴史、伝記、地図帳、辞書と、分野は多岐にわたる。さらに文学の中でも、唐詩や漢詩など古典文学や戯曲の扱いが多い。歴史書は明、秦、漢、隋、唐時代ごとに陳列されている。専門的な書物ばかりが棚を埋めているため、客層は中国医学の専門家や大学教授がほとんどだ。

03-6272-6145  
千代田区神田神保町3-2-9 塚本ビル2F



## ⑩ 愛書館 中川書房

平成24(2012)年にオープンした、古書全般を扱う「愛書館 中川書房」。靖国通りから1本入った路地裏、文華堂書店の隣に店舗を構える。買取りによる仕入れが多いため、いつ何が入荷するかはその時々のお楽しみ。全集・歴史・宗教・哲学などの専門書、美術・建築・写真など趣味の本、和紙・版画などの古典籍、岩波文庫・講談社学術文庫・ちくま文庫などの学術系を中心とした文庫本など、幅広く取り扱っている。

03-6272-8998  
千代田区神田神保町2-3-11



## ⑪ 大雲堂書店

古書全般を扱い、各ジャンルの良書を手ししやすい価格で販売している。武道書、漢詩や漢文、東洋医学などの専門書や学術書から、文学全集や宗教に関する本、囲碁や将棋など趣味の本など品揃えは多種多様。入口付近には様々な言語の辞典・事典類などが並び、英語・独語・仏語はもちろんルーマニア語や、『医学英語文例辞典』(朝倉書店、昭和58年)や『新約聖書ギリシア語辞典』(キリスト教新聞社、昭和53年)など専門的な辞典も揃う。老舗だが、間口が広く入りやすい雰囲気、地下鉄・神保町駅からも近く、古書店めぐりの起点ともなる。

03-3294-0616  
千代田区神田神保町1-9



## ⑫ 書肆 秦川堂

鉄道・産業関係の資料、古地図を専門に取り扱う「書肆 秦川堂」。江戸時代から昭和30年頃までの江戸・東京関係の歴史研究資料も充実している。また、絵葉書・写真・ポスターなどの品揃えも豊富。明治期や昭和初期の旅行の様子が見られる時刻表や旅行案内書も扱っているため、旅行好きにもおすすめ。買取りも積極的に行っているため、「こんな面白いものがある」といったものがあればぜひ相談してみしてほしい。

03-5213-4498  
千代田区神田神保町2-13-2 神保町SFビル3F

